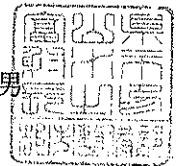




射道建第325号
平成19年5月10日

国土交通省道路局長 殿

射水市長 分家 静 男



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について

新緑の候、貴殿には益々ご健勝のこととお喜び申しあげます。また、常日頃よりの道路行政へのご尽力に敬意を表すると共に、本市に対するご配慮を心より感謝申しあげます。

さて、平成19年4月2日国道企第114号で依頼のありました「中期的な計画の作成にあたっての意見」につきまして、別添のとおり整理しましたので、今後の道路行政の参考として頂ければ幸いと考えております。なお、今後とも本市の道路行政への格段のご配慮を賜りますよう申し添えさせていただきます。

記

1. 意見書 別添のとおり

2. 問い合わせ先 富山県射水市道路建設課 担当 北本
TEL 0766-52-7393 (直通)
FAX 0766-52-8081

以上

中期的な計画の作成にあたっての意見書

- ・ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

これまでの都市部優先の道路整備では、今後さらに人口の一極集中型が進むことが懸念され、それらの格差是正に向けた道路整備が重要である。

地方には、まだまだ魅力ある開発要因が未知溢れている。物流の拠点となる港湾、空港やインターチェンジとのアクセスや幹線道路網の強化を図ることにより、「もの」「ひと」の大きな流れをつくることが可能である。特に、日本海側には東アジア諸国との交易、交流の拡大が見込まれる地域でもある。我が射水市においても特定重要港湾伏木富山港（新湊地区）を有しており、港湾施設整備が着々と進められる中、特にコンテナ取扱量が著しく増加している現状である。地域産業が活性化すれば必然的に人も集まり、さらなる地域の発展が見込めるものである。

地方部の道路網整備は地域活性化の根幹を成すものであり、日本が抱える構造的不均衡を解消する最大要因でもある。これらを重点課題として道路政策を考えるべきである。

- ・ 効率化を徹底的に進める上での重視すべきこと

集中的投資による、投資効果の拡大である。道路整備においては、用地取得や物件移転等の多くの課題がある。課題が多く残るものには順次鋭意努力し、それらの問題が速やかに解消され一定基準以上の投資効果が見込まれる路線には集中的投資が可能となる制度づくりが必要と考える。

- ・ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

新たな道路整備は鋭意行われるべきものであるが、今後は既存道路を高齢化社会に対応できる、安全で潤いある道路に変えていく必要がある。単なる拡幅改良ではなく、既存道路敷地内で歩行空間の確保や景観に配慮した地域性の高い道路づくりが望まれると考えられる。特に、北陸地方においては冬期間の通行に対する安全性の確保（消融雪施設の整備促進）が重要である。維持管理を含めたこれ等に対応できる制度づくりに配慮願いたい。